

- 1 派遣期日 平成22年10月8日(金)
- 2 研修先 学校名(会場名) 高萩市立東小学校
所在地 茨城県高萩市有明町1-141

3 研修内容

(1) 研修会名及び研究テーマ

国立教育政策研究所指定 学力の把握に関する研究指定校事業完結発表会
研究主題「確かな学力をはぐくむための指導と評価の研究」

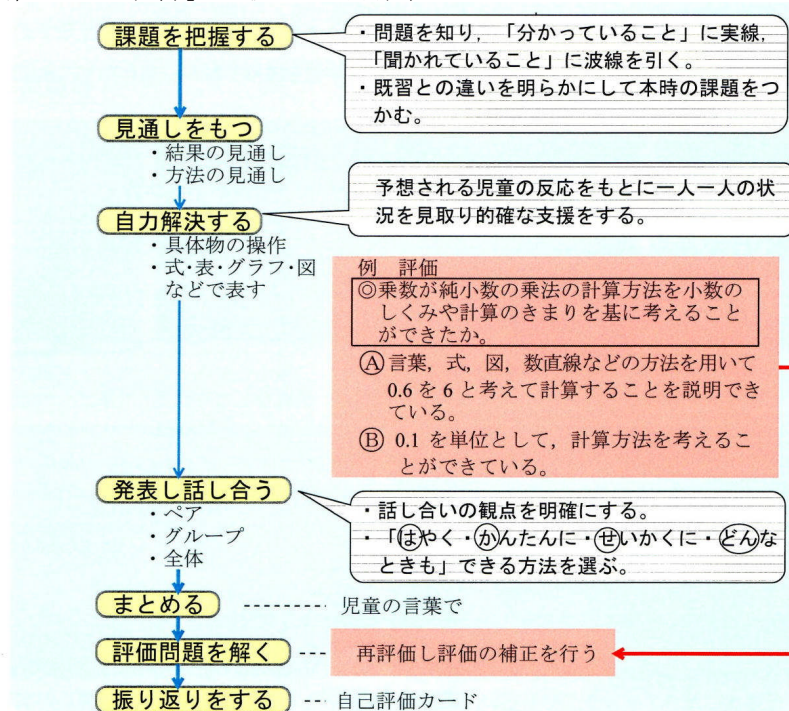
(2) 研究内容から

① 評価方法の工夫改善

- ア 単元，具体の評価基準の作成及び活用…「十分満足できる」と「努力を要する児童への具体的な支援」を明確化。
- イ 座席表を用いた評価の累積…「数学的な考え方」では単元で1枚を使用。
- ウ 補助簿による評価の総括…単元ごとに一覧表にまとめている。
- エ 評価問題の工夫…毎時間授業の最後に自作の評価問題を実施。

② 学習指導の工夫改善

- ア 「問題解決的な学習」の流れを明確化



- イ ノート指導の工夫…学校全体で算数のノートの使い方を統一して使用。
- ウ 指導形態の工夫…一人一人にきめ細やかな指導をするため，全学年で少人数指導とTT指導の取り入れた。

- エ 個に応じた指導…ヒントカードや発展問題を取り入れた指導。

③ 家庭との連携

- ア 実態調査の実施…家庭学習／TT・少人数指導についてのアンケートを実施。

- イ 手だて…学校便りの配布「学力の向上を目指して」

「家庭学習の手引き」の配布

「家庭学習の記録」の協力願い

算数授業の一斉公開

- ウ 変容…「宿題が多すぎる」との声から「家庭学習の方向性を示した」ことで感謝へ変化した。

④その他

ア 校内の算数環境の整備

校内の算数環境



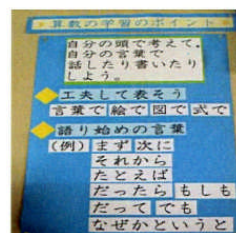
算数的活動体験コーナー



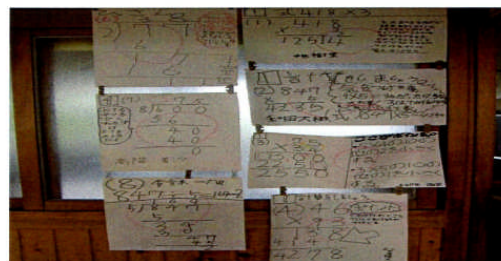
ノート展



既習事項の廊下掲示



「算数の学習のポイント」
掲示



児童の考えの掲示

イ 評価の実例

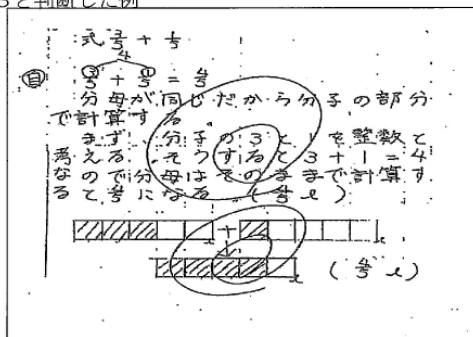
評価の実例

単元名 分数

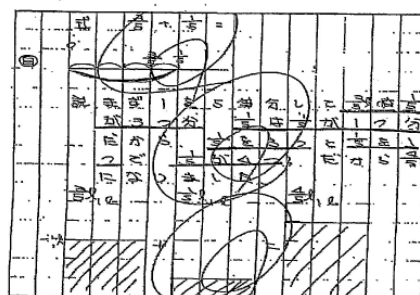
◆ 児童の具体的な状況（評価方法）

「おおむね満足できる」と判断される状況	「十分満足できる」と判断される状況
まず図や数直線を活用して考えることができている。 (発表・ノート・確認プリント・振り返りカード)	単位分数である $1/5$ を基に加法の計算の仕方を説明することができている。 (発表・ノート・確認プリント・振り返りカード)

◆ Bと判断した例



◆ Aと判断した例



図を使って考え、計算の仕方を分子どうしを加えると説明しているが、分子の意味が $1/5$ のいくつ分であるということを説明できていないので、B評価とした。	まず図で考え、さらに $3/5$ は $1/5$ が3つ分、 $1/5$ は $1/5$ が1つ分であることを基に説明することができているので、A評価とした。
---	---

(3) 講演から

- ・新学習指導要領改訂のポイントは4つ。特に「算数的活動」は指導内容を確認して実施してほしい。
- ・グループや全体での発表することは「目的」ではない。友達の考えと比べ、自分の考えのよさを知ることによって「そういう考えもある」ということを知るため。見た目だけ考えているのではなく、『きまりを見つける』『今までの考えを使う』『理由を考える』ことが大切。

4 感想

全職員が同じ考えを理解するだけでは学力向上は難しい。実際に同じ歩調で進めることや、それぞれの授業力向上のための相互授業参観、また、各学年で使用できる教材や、それらを身近に置き児童が自由に触れることのできる環境作りも大切だと感じた。

